



朝国の紅梅

寿芳

第14号

編集発行
湖南市老人クラブ連合会

TEL 72-2320



新年のご挨拶

会長 仲西恭介

新年あけましておめでとうございま
す。この一年が良い年でありますよう
お祈りし、併せて市老人連に変わらぬ
ご支援を賜りますようお願いいたしま
す。

さて、昨今、ことあるごとに高齢社
会云々といわれ、複雑な思いをしてい
る方も、居られるかと思いますが、若者を凌ぐ元気なシニアを
紹介したいと思います。

持病の不整脈を乗り越え、今年八十歳で三度目のエベレスト
登頂、しかも最高年齢記録に挑戦する三浦雄一郎さん。五十代
になつてからヒマラヤへの挑戦を始め、六十三歳でエベレスト
登頂女性最高記録を樹立、八千m級五座制覇を達成した渡辺玉
枝さん（七三歳）。人口約二千人、高齢化率約50%の徳島県上勝
町、日本料理を彩る季節の花、葉などの「つまもの」をパソコン
を駆使し、市場情報を収集、出荷して、年商二億円を稼ぐ高
齢者たち。昨年八月、フィンランドの世界マスターZ陸上で四
種目でメダルを手にした山形市の田崎元一さん。九十歳から詩
を書き始め、九八歳で詩集「くじけないで」を出版し、無名の
詩人で異例の百五十万部のベストセラーとなり、百二歳の今も
詩作を続けている柴田トヨさん。

この方たちほど有名でなくとも、私たちの周りには趣味、特
技などで活躍、貢献している人は一杯います。

同じ長生きするなら、人生を楽しみたい、このまま老いぼれ
ていられない、自分には、まだまだしなければならないこと、
自分のため、家族のため、地域のため、何をすればよいか、こ
のようなお気持ちの方が沢山居られることだと思います。
今年も元気でがんばりましょう。

謹賀新年

平成二十五年



湖南市老人クラブ連合会

会長 仲西恭介

副会長
(陶芸・奉仕部長) 萩原弥一副会長
(女性部長) 大隅三郎

監事 竹内義昭

監事 國枝昭太郎

文化部長 林 弘實

保健体育部長 林田博行

交通安全部長 谷口 守

相互交流部長 十河與尾

健康ウォーキング部長 内林 要

湖南市老人クラブ連合会会长表彰

◆老人クラブ育成功労者（あいうえお順）

正福寺老人クラブ
青木 酉二西清水老人クラブ
大戸きよの石部東小池クラブ
白川 英夫みどりの村区ふるさと会
白阪 瑛子イワタニランド寿楽会
徳永 貞美

◆優良老人クラブ

- 岡出宝寿会
- 花園延寿クラブ

◆老人扶養篤行者

正福寺老人クラブ
加藤 富子

多大な協力に感謝いたします。

講演では、藤本クリニックの藤本先生より認知症を正しく理解できるよう解り易く説明があり大変参考になりました。

アトラクションとして、心の愛唱歌「ゆめ」によるコーラスで会場全体が癒されました。おわりに、大会の進行や準備にあたつた部員、事務局の皆様の

来賓の方々からは、老人クラブ活動への励ましの祝辞が述べられました。続いて大会宣言が力強く提案され賛同を得ました。

事例発表では、石部仲睦会より日頃の地道な活動が報告され、平松長寿クラブからは「うつくし松」育成活動が発表されました。

9月29日（土）甲西文化ホールにて「湖南市老人クラブ大会」が四百余名の会員の参加で盛大に開催されました。

開会セレモニーに続いて、功労者の方々、及びクラブへ長年に渡る努力に対し感謝の意を表し、会長

表彰が行われました。

**平成24年度
老人クラブ大会を終えて**

文化部長 林 弘 實

全國老人クラブ大会

全国老人クラブ連合会創立50周年記念の大会が、10月4日 東京「日比谷公会堂」で開催され、湖南市老人クラブ連合会から大隅三郎副会長と柑子袋延命会の内林 要会長が出席しました。大会には天皇・皇后両陛下がご臨席され、天皇陛下のおことば、厚生労働大臣挨拶、表彰のあと童門冬二先生による「いま、日本に求められるもの」の記念講演等がありました。

この席で柑子袋延命会が優良老人クラブ表彰を受賞し、菩提寺長寿会が活動賞を受賞されました。



柑子袋延命会
内林 要



菩提寺老人クラブ長寿会
荻原 弥一

全老連会長表彰を受賞して

柑子袋延命会 内林 要

この度、全老連創立50周年記念「全国老人クラブ大会」におきまして、柑子袋延命会は優良老人クラブとして栄えある全老連会長表彰を頂きました。これはひとえに、歴代の先輩延命会会長や会員様の延々と築いてこられた弛まざる努力の結晶と、私どもは深く感謝しています。また、今回の表彰にあたり関係各位様、とりわけ湖南市老ク連の方々には大変お世話になりました。有難うございました。

当日は、10時ごろに会場の日比谷公会堂に入り指定された場所に着席し式典の始まるのを待ちました。11時30分に幕が上がり、天皇、皇后両陛下がご臨席なされ我々一同起立し国歌を歌いました。全国老人クラブ連合会会長の齊藤十朗氏の式辞の後、陛下のおことばがありました。その後表彰式で受賞者代表の方が、厚生労働大臣、及び全老連会長から受賞されました。最後に野田総理大臣、横路衆議院議長、平田参議院議長の祝辞があり、両陛下が退席され式典は終了しました。私は、天皇陛下のお言葉を直接聞くのは初めてであり大変感激しました。

我々老人の生甲斐は出来るだけ長く元気で楽しく世間の人々が喜んでくれる事をする事です。それには日頃から健康管理に勤め億劫がらずに外に出て、人に会い人と話をする、その事が大事なことだと思います。その為、老人クラブがあり老人クラブには種々な人がおり趣味の合う人、同じ悩みを抱えている人もいます。お互い励ましあい、助け合いです。



滋賀県老人クラブ大会



東寺老人クラブ長寿会
山元 重雄

11月14日老人クラブ大会が米原市の文化産業交流会館で開催されました。湖南市から三役をはじめ、各単位クラブの会長が出席しました。

大会では県老人クラブ連合会会長、滋賀県知事、地元米原市長等の挨拶、来賓紹介に引き続いて育成功労者や優良老人クラブの表彰が行われました。

湖南市から東寺老人クラブ長寿会が、優良老人クラブ表彰を受賞されました。



湖南市老人クラブ大会・指導者研修会

事例発表



仲睦会の活動について



仲睦会 副会長 大野 富美子

仲睦会とは、石部仲町、シニアの親睦会です。昭和四十一年に結成、四十六年目になり、現在、会員は三十名、男性九名、内八十歳以上が八名、女性二十一名、内八十歳以上が八名です。

いして、ひと時に生きがいを感じ、楽しく過ごしました。

学校が夏休みの期間には、早朝六時半からラジオ体操を児童と一緒にしました。

1. 生きがい
2. 健康づくり
3. 友愛訪問
4. 世代間交流と地域社会への参加
5. 会員の入会促進

この事を目標に活動しています。

集会の日は朝から集会所の掃除と外廻りの草引きや掃除を、座布団力バーを持ち帰つて洗たくをします。お食事前にボランティアの方に舞踊や、マジック、笑いヨガ等をお願

地域活動で、毎年三世代夏祭りが自治会で開催され、それに会員の半数以上が参加しています。バーベキュー、ソーメン流し、かき氷、焼きそば、すいか割り、マジック、竹と盛り沢山の催でした。

中には入会を勧めても、役が廻つて来るから「いや」「あしがない」とことわられます。

私は六十歳から入会しました。カラオケ、グランドゴルフ、フオーラダンスと楽しんでおります。

九月、敬老会と友愛訪問、声かけ運動を、手作り小物と平和堂の商品券を持って、寝たきりの方や病弱の方や集会に出席して下さらない方の友愛訪問をしました。

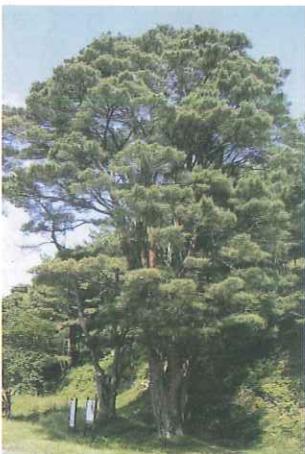


日帰り旅行で四日市のユラックスへ、途中椿大社へ参拝しました。この時一般の方や未加入者に声かけし、多く参加者が出来ました。バスの中では和気合々で世間話に花を咲かせ楽しい一日でした。その時に入会を勧め、五人の若い会員が出来ました。

睦を深め、明るく楽しい残りの人生を過ごせますように願つております。

【目的】

- ①高齢者の生きがいを目指して
②美松山の観光資源質的向上の提言
③美松山の若木を地元の手で育てる

**【結果と反省】**

9月19日に樹木医・中西肇氏、湖南市・氏丸隆弘氏に出席して戴き、昨年10月以降の活動結果と反省、並びに、今後(10月～来年9月)の計画を立案した。

【将来の夢】

- ①美し松の若木を地元で育て、美松山に移植して「マツタケの里山」を再生する夢見る
②美松山が近江東海道ガイドブックに記載されている歌川広重画「美し松の風景」を夢見る

滋賀県で第36回国民体育大会が開催された際に、国の天然記念物である美し松を昭和天皇の行幸を仰ぎ、三十年経過した美松山は

①美し松の古木は松食い虫の被害で枯れて数少くなり、他所で育成した美し松の若木を移植され、根づく若木は少ない。
②檜・雑木が茂り、その木陰で自生し、松の若木は弱々しく生えては枯れている。
③美し松を鑑賞に来られる方々の滞在時間は短く、満足感が不足している。

現状である美し松は、松尾神社の神木、湖南市の銘木といわれている。宝物なので、地元平松区民の手で昔懐かしい風景の美松山を取り戻したいのが動機です。

【動機】

滋賀県で第36回国民体育大会が開催された際に、国の天然記念物である美し松を昭和天皇の行幸を仰ぎ、三十年経過した美松山は

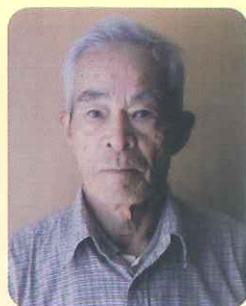
①研修講座・基本的知識を習得のため現地巡回指導者 川那辺三郎氏(京都大学名誉教授)、樹木医 中西肇氏(㈱中西園材代表取締役)による研修講座を受講

〔特記事項〕→ 美し松と確認できるのは発芽から5～7年を要すること

また、発芽した松苗の5～10%が美し松となる宝物である。

②種子採取・自生地の代表的な美し松(松ボツクリ)から10月下旬に種子採取。

③育成畑・松尾神社畑、自生地畑、触合い畑(各町別畑)、ポット栽培

**美し松の若木を育てる活動**

平松長寿クラブ 会長 平井 一義

【内容】

平松長寿会は湖南市美し松管理個所の指導と湖南市まちづくり市民活動に参加して目的を達成するため、年間(10月～翌年9月)の計画を立案して活動している。

(1)研修講座・基本的知識を習得のため現地巡回指導者 川那辺三郎氏(京都大学名誉教授)、樹木医 中西肇氏(㈱中西園材代表取締役)による研修講座を受講

〔特記事項〕→ 美し松と確認できるのは発芽から5～7年を要すること

また、発芽した松苗の5～10%が美し松となる宝物である。

(2)200本の美し松が自生していると言っているが117本である。

(3)10年前に補植樹移植した約50本は19本である。

(4)木陰で弱々しく自生している発芽約5年の美し松は22本である。

(5)木陰で弱々しく自生している発芽約5年の美し松は22本である。

(6)自生若木の保護・自生地踏査で自生している美し松は12本の内、8本は日当たりの良い場所に移植する。残りの4本は周囲の雑木を伐採して自生若木を保護する。

(7)自生地踏査結果と観光資源質的向上提言については湖南市長宛に要望書を提出する。

【今後の活動】

初期の目的、高齢者の生きがいを目指して「美し松の若木を地元の手で育てる」と「美松山の観光資源質的向上」の達成のため、

①研修講座で習得した「美し松と確認できるのは発芽から5～7年を要する」ので今後5年間は種子採取・育成畑耕作・種蒔き・日常管理等を毎年繰り返し実施する。

②美松山の木陰で弱々しく自生している美し松の保護育成作業。

③美松山の観光資源質的向上を考慮した美し松若木の移植場所を検討し、密集した檜・赤松・雑木等の伐採作業計画策定。



- ④種蒔と日常管理・4月中旬に種蒔を行い、日常管理は畑毎に担当培(個人別)とした。
⑤自生地踏査・美し松の若木の移植場所を検討するため、自生地管理地内を踏査。
会員を定めた。

各部の活動報告

ペタンク大会

保健体育部 副部長 山元 重雄



平成二十四年六月一日湖南市老人クラブ連合会が、親睦と健康づくりを推進し、明るく楽しい生活の実現に寄与する事を目的として開催されました。九時より四十五チーム、一八七名で競技を行いました。天候に恵まれ真剣な顔付きは、見ていても楽しいものでした。優勝は柑子袋Eチームで、準優勝、第三位もすばらしい賞品を手にし、日頃より練習されている成果だと感心させられました。大会に関しては、事故もなく無事に終えることが出来ましたのも、役員の皆様方、交通安全に携わつて頂いたシルバーキャラバン隊

の方々、皆様のご協力の賜ものと深く感謝いたしております。本当にありがとうございました。

動を与えて頂いた1日でもありますた。

参加された皆さんには、それぞれに悲喜交々の中で、有意義な時間だつたでしょう。無事に終わつたことが何よりも一番の1日でした。

グラウンドゴルフ大会

保健体育部 副部長 小峯 信義

10月31日（水）湖南市老人クラブ連合会のGG大会が、穏やかな日和の元に開催されました。

高齢者が住みなれた地域で、健やかに暮らし互いに支えあい、助け合いながら、ゆとり・潤いと安らぎに満ちた心豊かな地域社会づくりのひとつでもある、そのグラウンドゴル

フは、1982年（昭和57年）今か

ら30年前に鳥取県泊村（現・湯梨町）で、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、手軽に出来る生涯スポーツとして考案され、シニア世代の健康づくり、仲間づくりとして多くの人々に愛好され広く全国的に普及し、平成25年から、国体の公開種目として採用されるまでに至つた魅力あるスポーツでもあります。

今回も各学区から予選会で選抜された168名、それだけに参加者にとっては日頃の練習の成果を発揮すべく集大成の大会とも言えるでしょう。

和やかな雰囲気の中で、カラフルな玉をホールポストに向かって真剣に打つ姿は、高齢を感じさせない熱気と迫力があつて、観るものにも感

で有つた事を御理解頂き、皆様方のご協力で無事終了する事が出来ました事、厚く御礼申し上げます。有難うございました。

各大会の結果は以下の通りです。

『公式ワナゲ』35チーム

ニユースポーツ大会

保健体育部 部長 林田 博行

ニユースポーツは今年度より保健体育部が担当する事になり、公式ワナゲ・ビーンボウリングの両大会を、六月二十二日（金）市総合体育館に於いて実施致しました。

《ビーンボウリング》37チーム

《優勝》中央虹の会D

《準優勝》正福寺老人クラブA

《第三位》中清水老人クラブC

111名の参加

《ビーンボウリング》37チーム

《優勝》中央虹の会D

《準優勝》正福寺老人クラブA

《第三位》中清水老人クラブB

111名の参加

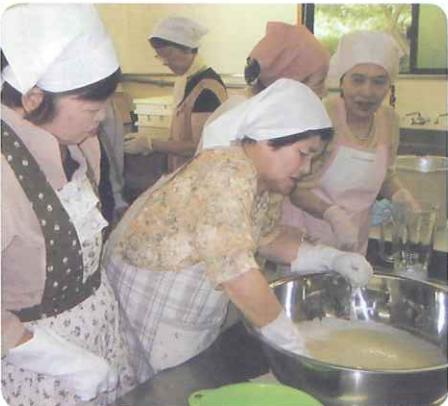
《ビーンボウリング》37チーム

《優勝》中央虹の会D

《準優勝》正福寺老人クラブA

てお昼をいただきました。私達の作ったこんにゃくも試食に出てきました。とてもおいしかったです。私は初めての体験なので感動しました。

帰りには、私達の作ったこんにゃくを一人一人に渡してくださいました。頂いたこんにゃくを今夜の食卓に：と思いながらバスに乗り、止つた所が、あいとうマーガレットステーションでした。又、東近江大凧会館を見学し、楽しい一日を過ごしました。



交通安全全部

副部長 木下 幹敏

少子高齢化の時代と言わせて久しい現在、益々その傾向が強くなり、高齢者をとりまく環境はきびしくなるばかりです。交通安全部は33老人クラブ66名の隊員からなるシルバー

車を運転する人は歩行者の無神経な行動に腹を立てたこともあると思いますが、逆に歩行者は無謀と思われる運転にヒヤッとした事もあると 思います。

お互いルールやマナーを守り譲りあうことが今日の車社会の中では絶対必要不可欠なことではないでしょうか。安全で安心して暮らせるよう お互い努力しましょう。

陶芸部

副部長 坂本 徳江

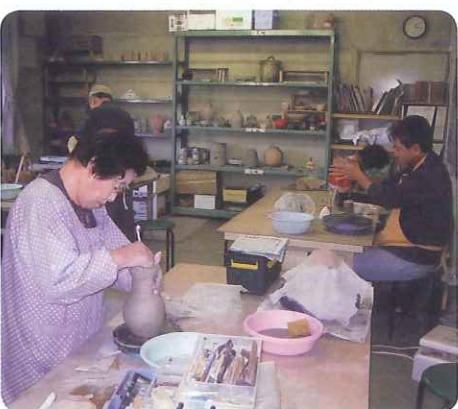
野に山に美しく、身も心も弾む、 今日この頃です。皆様、お元気でお 過ごしでしょうか。

陶芸教室では、毎日楽しく、目で 楽しみ、心を豊かにしてくれる、器 を楽しく創っています。手作りの陶

園芸・奉仕部

部長 萩原 弥一

園芸・奉仕部の活動は、部員の皆さんを初め、多くの方々のご協力により、石部西区の花壇と、社会福祉センター前の花壇の花の植替え作業を年二回行い、毎日の如く水やりや、草引き作業にご協力を頂きました。事、皆さんに深く感謝申し上げます。年中二ヶ所共美しい花を見る事が出



琵琶湖畔を楽しく歩きました

ウォーキング部副部長 池上 幸男

月例の高齢者健康ウォークを10月30日に今回初めて市外のコースを選び、琵琶湖畔をウォークしました。

大津駅前をスタート、大津祭り曳 山展示館に立ち寄り、浜大津に出で、大津湖岸なぎさ公園から石山寺まで、湖岸を秋の爽やかな浜風と日差しを浴びながら歩いたりとした気分で、夫々が目に映る景色を語り合つ

キヤラバン隊を組織し、今年も数回の出動を実施すると共に、全員の皆様と共に交通安全研修や交通安全教室等の参加で多くのことを学ぶことが出来ました。高齢化が進み身体能力が低下してくる中で「事故を起さない」だけでなく、「事故にあわない」ことがなによりも大切です。70才以上になりますと、運転免許更新は事前に運転適性検査を受けなければなりませんが、この時自分の適応能力が低下していることにびっくりする人も多いのではないかと思ひます。

車を運転する人は歩行者の無神経な行動に腹を立てたこともあると思いますが、逆に歩行者は無謀と思われる運転にヒヤッとした事もあると 思います。

お互いルールやマナーを守り譲りあうことが今日の車社会の中では絶対必要不可欠なことではないでしょうか。安全で安心して暮らせるよう お互い努力しましょう。

器は、お花を活けても、食材を入れても、なんともいえない味わいがあります。お店で売っている綺麗な器とは一味違う自分だけの焼物に、愛着と満足感が沸いてきます。

活動は、毎月二日間ですので、お時間の都合をつけて、皆様も陶芸教室で、いつまでも若々しく楽しく過ごせませんか。いつでも皆で大歓迎してお待ちしています。

この様な一年でしたが、努力して頂きました部員の方々と、来年度も美しい花を咲かせて頂く事を期待しております。

又、部員の交流と親睦を交えての現地研修会を九月七日に開催いたしました。長浜の萩を見学、少し早いようでした。

この様な一年でしたが、努力して頂きました部員の方々と、来年度も美しい花を咲かせて頂く事を期待しております。



て実際に和やかな雰囲気でウォーキングを楽しみました。

今回は、歩程約12kmと通常より長いコースであることを考慮して、丁度中間地点である膳所城跡公園を昼食場所とし、ゆっくり休息した後石山寺へと向かい、皆さん足の疲れもそれほど感じられず、落伍者も無く全員が無事完歩しました。

三力年の推進事業を終え、今年度から新たにウォーキング部としての活動は、新しく参加される方も増え、内容も充実して来ております。日常の健康管理・増進のために多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

園芸部 小林 和雄

平成二十四年七月二十一日（土）に湖南市社会福祉センターにおいて、平成二十四年度三世代間交流陶芸教室が開催され、児童十五名と保護者八名の方が、陶芸部員の指導のもと和気合々と粘土に触れながら、マイカップや器等、作陶に、精を出されました。

その後、作品を乾燥させ、素焼き、施釉、本焼を施し、夏休み中に、本人に作品を手渡しました。この事業は、毎年実施されますので、是非、ご参加をお待ちいたしております。

六月十五日、社会福祉センター活動室で「くらしに身近な薬のはなし」を農学博士の妹背 醇先生に講演していました。

健康維持の基本の内、適正な「くすり」の使用があり、種類も病院で処方されるもの、薬局等で購入するもの、配置薬などがあります。高齢者は薬の副作用が起こりやすく、正しい服用法や用量を守ることが大切で、上手に使って健康で明るい老後を過ごしたい。

引き続き「健康いきいき体操」を行いました。

十月十日には二十五名が「いきいき百歳体操」を市地域包括支援センターの指導員二名の方から実技指導を受けました。筋力運動が中心の体操で、週一～二回行うと良く、おもりりを手首や足首につけて行います。おもりは調節可能なので、その人の筋力や体力に合わせて行ない、一番大切な事は継続すること！近くの会場に人が集まれば、地域包括支援センターから指導に来てもらいます。各単位クラブでも取り組んでください。

三世代間陶芸教室の実施

健 康 講 座

相互交流部 副部長 林 功

六月十五日、社会福祉センター活動室で「くらしに身近な薬のはなし」を農学博士の妹背 醇先生に講演していました。

カラオケ

相互交流部 副部長 林 益善



今年度も各2学区づつ交代で各学区から10名くらい、計20名くらいで午後1時30分～午後4時30分まで歌の好きな方に参加をして頂いており4回開催です。

皆さんよく知っている曲、時には手拍子を、時にはいつしょに歌つたり自分の十八番をうたう方。又明るく楽しくうたう方、心を込め気持ちを込めてうたう方。毎回リクエストが多くて開催時間が短く感じ、お手伝いをしている私達も楽しく聞かせて頂いております。

本当にカラオケはいいですね。皆さんも次年度開催日には是非ご参加下さい。



サークル活動

相互交流部副部長 國松 昭

本年度始めて設置された「サークル活動」担当をお受けしました。しかし、具体的な方法すら決まっていなかったので、従来のような地区単位のサークル支援をするのか、市老ク連の大会にするのか等検討する必要がありました。

先ず、現在各単位クラブで実施されている「サークル活動実態調査」を四月に実施した結果、14種目57サークルの活動回答を得ました。ただし内容としてはグラウンドゴルフ、ペタンク、カラオケで全サーク

夏見老人クラブの活動について

夏見老人クラブ 会長 山中 昌夫

本年度始めて設置された「サークル活動」担当をお受けしました。しかし、具体的な方法すら決まっていなかったので、従来のような地区単位のサークル支援をするのか、市老ク連の大会にするのか等検討する必要がありました。

○いきいき百歳体操クラブ（クラブ員十九名）

毎週水曜日に夏見会館でビデオ



単位クラブ活動報告

そこで、本年度の活動として「市老ク連第一回囲碁大会」を一月二十八日（月）に開催することに決定しました。

すでに募集案内が回覧されていると思いますので、奮ってご参加いただき、今後も発展していく大会になる様、ご支援ご協力を願い申し上げます。

○生花グループ（クラブ員七名）
夏見・針ふれあい祭りへの展示参加

加

○園芸グループ（クラブ員十三名）
葉ボタン播種作業及び栽培の研修、パンジー他秋播花類の播種作業及び栽培研修、その他春播花の播種及び栽培研修などを行い園芸の促進と地域の美化を推進しています。

健康で明るく楽しい「ふるさと会」を目指して

みどりの村「ふるさと会」会長 林田 博行

月例会を中心に老人会の目標でもある「健康・友愛・奉仕」の誠心に基づき、我が「ばつちやんクラブ」ハーモニカの演奏で二曲を歌い、誕生日のお祝い、貯金体操を行い、お茶とお菓子で雑談、ある時は、食事会をしたり、手品を鑑賞したり、より楽しい例会にすべく工夫をしています。

ハーモニカ、カラオケ、ゲートボール等の愛好会は、親睦、健康増進を目的に活発に活動をしています。

「ぜんざい」を頂きながらの花見、一泊旅行、一日研修旅行、忘年懇親会、新年会等で親睦を計り。教養講座では、絵手紙、「ゆるきやらべえどん」による寸劇で歴史を勉強し、健康維持と増進の為に、介護予防に関する知識の勉強、春秋に歩こ

ル中65%を下めていたのと、この3種目は市老ク連において、すでに大会や交流会が実施されています。

これ以外でサークルまたは趣味の会にされている「囲碁」を取り上げました。六月に「囲碁活動の実態調査」を実施した結果、広い地域で親しまれている会員が多数おられることが分かりました。

そこで、本年度の活動として「市老ク連第一回囲碁大会」を一月二十八日（月）に開催することに決定しました。

合わせて体操、その後は輪投げをして、筋力の衰えを防ぎ、勘や計算能力を養うことに努めています。

○歌謡教室あじさいグループ（クラブ員十二名）

毎月二回のカラオケ練習、老人クラブ会合での年二回の発表、夏見・針ふれあい祭りでの発表。

○大正琴かつら会（クラブ員九名）
月二回の練習、夏見・針ふれあい祭りでの発表。

○

夏見老人クラブでは一グループ最低六名のクラブ員が活動することを希望しています。

夏見・針ふれあい祭りでの発表。

○夏見グランドゴルフ会（クラブ員二十名）

新春大会、春季大会、夏季大会、秋季大会を開催し、地域内での親睦を推進しています。

○夏見グランドゴルフ会（クラブ員二十名）

新春大会、春季大会、夏季大会、秋季大会を開催し、地域内での親

う会、ニュースボーッで汗を流します。社会奉仕では見守りボランティア、中央公園、自治会館周辺、バス停付近の除草、清掃、を実施。見守りは市では最初に取り組んだと聞きます。及んでおり現在に至っています。文化活動も、一般の方にも作品を出品頂き、手作りの作品展を毎年実施、中日新聞にも取り上げられ大変好評を博しております。

A photograph of a craft exhibition booth. A woman in a white shirt and blue jeans stands looking at a display of handbags and accessories on a counter. The background shows other visitors and more displays of artwork and crafts.



老人クラブ活動報告

松風苑老人クラブ 会長
私達の住む松風苑老人クラブは、下田茄子や、下田焼きで有名な下田の町から東へ、約一・二キロメートル位東寄りで、水口町八田と下田の中間位の位置にあり、約七十戸近くある閑静な住宅街である。また老人クラブの会員数は現在三十七名の



健康第一を自覚し和気合々と楽しくをモットーに地域の活動にも頑張りたいと思っています。

あり、練習や大会等をも段々と回数が増えてきています。その甲斐があるつて皆様大変明るくて協力心のある皆様方達で感謝しています。他の活動としてはカラオケ部、ゲートボール部、ニュースポーツ部、アルミ缶のリサイクル部等の活動をも実施して社会に貢献しています。また会員の相互の親睦を図る為に十一月五日には日帰りグラウンドゴルフパック旅行も実施しました。今後も

クラブです。年齢は六十六歳（八十歳となり、平均年齢も約七十二歳と益々高齢化が進んでいますが、「健康・友愛・奉仕」の精神を柱として活動しています。中でも健康作り活動は活発で、健康で長生き出来る様にとの願いで健康増進の為に各スポーツの専門部長さんの献身的な働きがあり、特に、今や全国的に盛んになった、手軽に出来て楽しめる、グラウンドゴルフは大変好評です。

睦会会長 竹村 久郎
十月二十五日石部老ク協議会の岸和田だんじり会館と秋の紀州路日帰り旅行に連れて頂きました。参加者は男女合わせて一四五名でバス四台に分乗しての楽しい一日でした。
岸和田だんじり会館見学と岸和田城下の町並みは昔の風情が残されたようすに感じました。

昼食は新和歌で会席料理を全員で頂きました。一年一回のこの旅行で、みんなが笑顔で酒汲み交し楽しい一時を過す事が出来ました。

帰りは秋の紀州路をバスで走り、黒潮市場で買物をして帰路につきました。

この旅で感じた事は、個人では行き難い所へ多くの仲間と連れて頂き、毎日出会う仲間とめったに会う事のない仲間、近くに居ても話す機会の少ない仲間等、又女性の方と世間話を語つたり、笑顔と喜びにあふ



来年も健康で仲間を増して楽しい旅行が出来る事を楽しみにしています。

本建設社長に相談依頼をしたところ
心良く受けて頂き、七号碎石砂利を
50屯頂きました。敷均(しきん)は全国一齊社
会奉仕の日を選び太陽会員の出役を
お願いし、草引き及び玉砂利敷均(しきん)が完
了で、健康ウォーキングの方にも喜
んで頂けると思います。

百歳体操の持続・猶居老人及て病床の方の友愛訪問等・奉仕活動では、草引き・草刈等を毎月一回左記の公園。里山松籟公園・江戸時代ここは宿内に入る前に整列した場所で西繩手と呼び長い松並木があり、今は東海道石部宿松並木公園として東屋と五十三次の絵画の縮図黒石碑が設置されています。又石部猿田墓地広場には畠山兄弟の仇討ち寛文六年六月十四日石部宿で起きた事件で石碑が墓標として建立の場所でもあり。国

石部老ク協議会日帰り旅行

石部西区錦宝会 会長
國枝 昭太郎

A photograph showing a group of approximately ten people, mostly older adults, working together to plant flowers in a long, narrow garden bed alongside a paved road. The garden bed is filled with soil and small, colorful flowers. The workers are dressed in casual outdoor clothing like shirts, pants, and hats. In the background, there are trees, utility poles, and buildings under a clear blue sky.

全国一斉社会奉仕の日活動について

文芸作品



遺句集を 読み忍ぶ夜の 雨月かな

検査日の 夫に小荷物 秋寒し

柑子袋延命会

立入美奈子

夕日を 水にうつして 刈田あと

優しさを 少し貰えり 花野ゆく

山裾に ひともと早き 櫨紅葉

夏見老人クラブ

西岡 尚代

柿すだれ 島の匂ひの 雜魚さじを煮る

食パンの 耳の焦げ目や 寒鶲かんぎや

正福寺老人クラブ

大世古まさみ

剥落の 仁王の背なや 暮早し
読みかけの 本伏せて聞く 虫の声

正福寺老人クラブ

望月 節子

夕餉おえ 今日の恙がや ちちら鳴く
刈田飛ぶ 雀万羽の 羽音かな
一夜の難 猪の暴れて 稲田消ゆ

菩提寺長寿会

坂口 ふみ

縁側へ 一人二人と 良夜かな

休耕田 多き里なり 野分跡

鉢巻が 田舎の帽子 刈田道

菩提寺長寿会

乾 久子

我慢坂 越えて晴ばれ 家族愛

上品に 着こなす老いの おしゃれかな

石部西区錦宝会

國枝 艷子

氣ぜわしく 玉葱植えんと 耕すも

きょうも時雨に 追われて暮るる

三雲延寿クラブ

遠藤 久子

小さな秋 一つ拾ろいし 栗の実に
笑顔になれた 里山のみち

岩根西老人クラブ

南 和子

整然と 刈られし炭烟 眺めたり
茶所農夫の 働きを知る

阿弥陀経 正座くずさず 唱う身に

西方の風 項に清し

岩根東老人クラブ

園田登美子

らつきようの花 むらさきに露おきて

そゝぐ朝日に ダイヤときらめく
つながれし 愛犬レオに 散りかかる

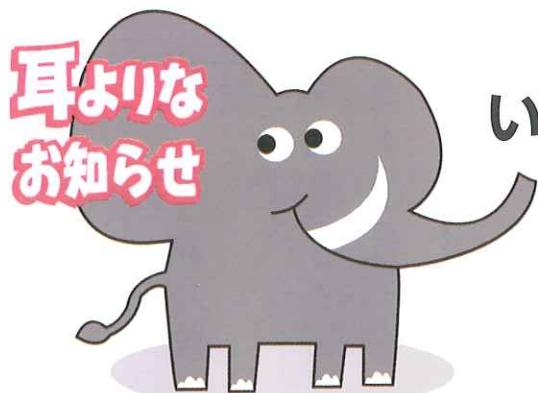
金木犀の 小さき花がら

きょうも時雨に 追われて暮るる



★会員皆様の投稿をお待ちしております。





新キャラクター「ぞう」君です。

いつでも、何歳でも……

手軽に傷害保険に加入できるのは、
老人クラブ会員の特典です。

最近、各保険会社で一般的に取り扱われている「個人契約の傷害保険」に、老人クラブ傷害保険並みの安価な保険料で新たに入ることが難しくなっています。

一方、老人クラブ傷害保険は、全国老人クラブ連合会が取りまとめ、一括して契約する「団体契約の傷害保険」のため、①比較的安価で、②年齢制限もなく、③一人でも加入できる、会員に有利な傷害保険となっています。

2つの種類		老人クラブ活動中と その往復途上のケガを補償します。 (基本タイプ)			基本タイプに上乗せして活動中以外の 日常生活全般(24時間)のケガも補償します。 (上乗せタイプ)		
年間掛金(タイプ名) 補償内容		500円 タイプ	1,000円 タイプ	2,000円 タイプ	3,500円 タイプ	5,000円 タイプ	10,000円 タイプ
クラブ活動中のケガ	ケガによる死亡保険金額 (死亡・後遺障害保険金額の全額)	50万円	100万円	200万円	165万円	243.5万円	487万円
	※注1 ケガによる後遺障害保険金額	50万円	100万円	200万円	50万円	100万円	200万円
	※注2 ケガによる入院保険金日額	1,000円	2,000円	4,000円	1,750円	2,950円	5,900円
	ケガによる通院保険金日額	650円	1,300円	2,600円	1,150円	2,000円	4,000円
クラブ活動中以外のケガ	ケガによる死亡保険金額 (死亡・後遺障害保険金額の全額)	—	—	—	50万円	100万円	200万円
	※注1 ケガによる後遺障害保険金額	—	—	—	50万円	100万円	200万円
	※注2 ケガによる入院保険金日額	—	—	—	1,000円	2,000円	4,000円
	ケガによる通院保険金日額	—	—	—	650円	1,300円	2,600円



広報部員

仲間の輪を広げよう！



仲間と話し合いながら、楽しくいきいきと暮らすことが健康にも、生きがいづくりにも役立ちます。老人クラブは、この会報に掲載された内容の活動を行っています。未入会者に声をかけ、仲間の輪を広げていきましょう。

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。会長をはじめ各役員、各単位クラブ会長、事務局、皆様のご協力により「寿芳」第十四号が発行でき、皆さんにお届けする事ができました事は編集部一同有難くお礼申し上げます。また前号で掲載出来なかつた文芸作品は今回多数寄稿していただきました事、重ねて心よりお礼申し上げます。昨年より躍動的な政界も年末近くに、衆議院解散、総選挙の前に各党が駆け引き、せめぎあいの議論が始まり選挙へと向かっております。

この広報が皆さんのお手元に届くまでに、新政権も誕生し、日本経済の回復、中韓との尖閣、竹島諸島、沖縄の諸問題等の今後の日本舵取りを強い指導と実行力で進んでいます。

この様な中、我々老人クラブ員は、日々元気暮らし、楽しく健康づくり、人と人とのふれあい、友愛、地域社会の奉仕等、充実した生活と活動にと頑張りたいと思います。

編集部も今年度二回目の発行で皆さんからお寄せ戴いた原稿を拝見させて頂き、各部会や各地域での活発な活動をされておられる事を強く感じることが出来ました。

最後になりましたがこの「寿芳」が一層充実して行きます様、皆さんのご要望、ご意見をお寄せ戴ければ有難いと思つております。厳寒の折、皆様のご自愛をお願いし、健康をお祈り申しあげまして、広報部一同お礼の言葉と致します。

編集後記

